

博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所			専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月9日	11:00-13:00	大学美術館 3F 展示室3	油画	ジェシー ホーガン	Survival Aesthetics © Exhibitions as a Critical Form 生き残る美学 © 展示が形式になる時:歴史
12月9日	11:00-12:00	中央棟第 2講義室	芸術学(美術解剖学)	上滝 玲子	絵画制作のための<海の無脊椎動物>の形態と構造の研究
12月10日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	油画(版画)	サイキ フェルナンド カルドソ	「Incorporel」 「身体内在可能性」:版画による身体の変貌
12月10日	10:30-11:30	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(漆芸)	許 琦	苔類における「氣」の探求 —乾漆技法を用いた造形と装飾表現—
12月10日	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	デザイン	金丸 遥	可視不可視の境界線
12月10日	12:00-13:00	大学美術館 B2F 展示室1	デザイン	杉山 夏実	場所と人のあいだ
12月10日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	エレナ トウタッチコワ	『歩行、思考と想像カーアートプラクティスとしてのフィールドワーク』
12月10日	13:00-14:00	大学美術館 1F エントランス	デザイン	木下 史青	死の近さ—茶の湯の美学と博物館が出会うとき
12月10日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室1	油画	森下 絵里奈	ひっくり返しの創作論 —“Gaze”から反転する“Vision”に向けて—
12月10日	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	許 力静	自己の他者—中国人女性写真家はいかに個を表現してきたか
12月10日	15:00-16:00	大学美術館 3F テラス	先端芸術表現	中島 伽耶子	1950年代の田中敦子論—モチーフの表現方法による分類から見た作品変化
12月12日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	横山 昌伸	still life series —視覚実験としての静物画の系譜と実践—
12月12日	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	森 友紀恵	包まれる空間認識 —乱視野と輪郭の共生—
12月12日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	杉山 佳	不在
12月12日	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	澤崎 華子	半透明の「かげ」—重層する時間の軌跡—
12月13日	10:00-12:00	中央棟 第1講義室	芸術学(美術教育)	橋本 大輔	美術教育における記号と実在
12月13日	10:00-12:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (日本・東洋美術史)	山田 美季	日本彫刻史における邪鬼の造形変遷と思想背景 —中国・朝鮮半島の造形の選択的受容と四天王護国思想との関係から—
12月13日	16:00-18:00	中央棟 第9講義室	文化財保存学 (保存科学)	韓 知佑	楮紙の湿潤強さに関する研究
12月16日	11:00-12:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(鑄金)	加藤 佑一	彷徨うからだ —鑄造によって浮かびあがる痕跡と装飾—
12月16日	11:00-12:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復彫刻)	重松 優志	東大寺法華堂 執金剛神立像の模刻制作を通じた奈良時代塑像の構造・技法研究
12月16日	13:00-14:00	大学美術館 2F バルコニー	油画(壁画)	丸目 龍介	ストリートのエキゾチカー 東京で考える —
12月16日	13:00-14:00	大学美術館 B2F 展示室1	油画(版画)	王 木易	境界の手触り——“文字”から晶出/融解する共同体のイメージ——
12月17日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	工芸(鑄金)	バンメールハーヘ バレンタイン	現代の”驚異の部屋” 東京の宝
12月17日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(陶芸)	蔡 瑩臻	陶芸による水平線の上下世界の芸術創造と表現
12月17日	18:00-20:00	中央棟 第3講義室	芸術学(西洋美術史)	山本 樹	暖炉上のエンブレム—16世紀後期ポローニャにおけるカラッチー族の室内装飾研究
12月18日	10:00-11:00	中央棟 第3講義室	芸術学(美術教育)	齋藤 功司	芸術的知性—美術教育の再措定
12月18日	10:30-11:30	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	ライタス ヴィンセント	美学としてのインティマシー Intimacy as Aesthetics
12月18日	10:00-11:00	大学美術館 B2F 展示室1	文化財保存学 (保存修復日本画)	林 宏樹	尾形光琳筆「松島図屏風」(岩崎小彌太旧蔵)の研究—想定復元模写を通して—
12月18日	11:00-12:00	大学美術館 B2F 展示室1	文化財保存学 (保存修復日本画)	谷津 有紀	河鍋曉斎の絵画表現論 —《龍頭観音図下絵》(河鍋曉斎記念美術館蔵)に基づく技法再現模写を通して—
12月18日	12:00-13:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(鑄金)	金 孝真	偶然の重層という変奏曲
12月18日	12:30-13:30	大学美術館 3F 展示室3	油画	新津保 建秀	見えないものを撮る—往還の身体行為によって生起するフォルム
12月18日	13:00-14:00	大学美術館 2F バルコニー	彫刻	田内 隆利	彫刻における無名性と記憶の想起—人間と自然のはざまで—
12月18日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室1	工芸(木工芸)	箕輪 菜海	漂然木象嵌による空間表現の探求
12月18日	15:00-16:00	大学美術館 2F バルコニー	彫刻	張 龍	木彫の内面精神—京劇をモチーフにした木彫の可能性—